

完了後の評価個表

整理番号 森3-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	神奈川県
地区名	南足柄市	事業実施主体	神奈川県、南足柄市
関係市町村	南足柄市	管理主体	神奈川県、南足柄市、南足柄市森林組合、個人
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 南足柄市は、神奈川県の西端に位置し、森林の面積は5,275haで森林率は68.5%を占めている。</p> <p>② 森林の状況 このうち、南足柄市森林整備計画の対象とする森林面積は4,702haであり、民有林の人工林面積は3,198ha（人工林率68%）となっている。 市内の人工林は7齢級以下の森林が81%を占め、早急な間伐、枝打などの保育管理が必要とされている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 従来の一斉人工林施業にとらわれることなく、複層林施業、育成天然林施業等の多様な施業方法の体系を進めるとともに、伐期の多様化、長期化を図りながら、地域の特色を活かした森林の有する多面的機能を高度に発揮し得る健全な森林に向けて、事業の推進を図る必要がある。 さらに、本市の飲料水はこれらの森林に依存している現状を踏まえ、豊富な水資源を安定的に確保するため、水源の森林百選の地をはじめとした水源地域の森林整備を積極的に推進していく必要がある。 このため、南足柄市森林整備計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p> <p>（事業概要） 森林整備 植栽2.07ha、下刈68.10ha、除・間伐767.80ha、枝打等314.12ha</p> <p>森林管理道整備</p> <p>① 桜山線 車道幅員 4.00m 開設延長 1,732m 利用区域面積 773ha</p> <p>② 足柄久野線 車道幅員 4.00m 開設延長 1,242m 利用区域面積 502ha</p> <p>総事業費 1,303,785千円 （当初総事業費 1,540,529千円）</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 森林整備の事業量が当初計画に対し減少したことから総便益が減少した。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>5,281,286千円</td> <td>(事業採択時 17,238,465千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>2,353,239千円</td> <td>(事業採択時 2,849,925千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>2.24</td> <td>(事業採択時 6.05)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	5,281,286千円	(事業採択時 17,238,465千円)	総費用 (C)	2,353,239千円	(事業採択時 2,849,925千円)	分析結果 (B/C)	2.24	(事業採択時 6.05)
総便益 (B)	5,281,286千円	(事業採択時 17,238,465千円)								
総費用 (C)	2,353,239千円	(事業採択時 2,849,925千円)								
分析結果 (B/C)	2.24	(事業採択時 6.05)								

② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽されたスギ・ヒノキや樹下植栽された広葉樹の成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに多様な環境を持つ健全な広葉樹林として育成されており、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。 林道が整備された区域においては、森林整備の効率化、木材生産の低コスト化が図られた。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道は、神奈川県が管理者となって、県が定めた林道管理基準に基づき管理されている。 年1回程度の草刈や側溝掃除等が行われており、維持管理状況はおおむね良好である。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	<p>除伐及び間伐等が実施された森林は、林内に日光が差し込むことで明るく健全の林分に改善され、森林の景観が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
----------------	--

<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>材価の下落や林業労働従事者の高齢化等による担い手不足などもあり、林業経営は低迷しているが、当地域の森林では、公益的機能の高い森林づくりを目指した水源の森林づくり事業（県事業）を始めとする森林整備が活発に行なわれている。こうした中で、当事業で整備された林道は、通勤時間の短縮や林業機械の搬出入等作業効率の向上に資するものとなっており、森林の適正な整備及び保全を効率的に進めるための基盤として活用されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>利用期を向かえつつある森林資源を活用し、持続的な森林経営を実現していく必要があるが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林施業の集約化や路網整備を通じて低コスト化を図り、計画的な森林整備を一層推進する必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 南足柄市は市の総面積の約69%が森林面積であり、手入れが必要な7齢級以下の人工林も森林面積の61%と多いことから、適切な森林整備が求められており、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。 林道が災害時の迂回路としても機能していること。 森林整備により森林の多面的機能が十分に発揮されている。 以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

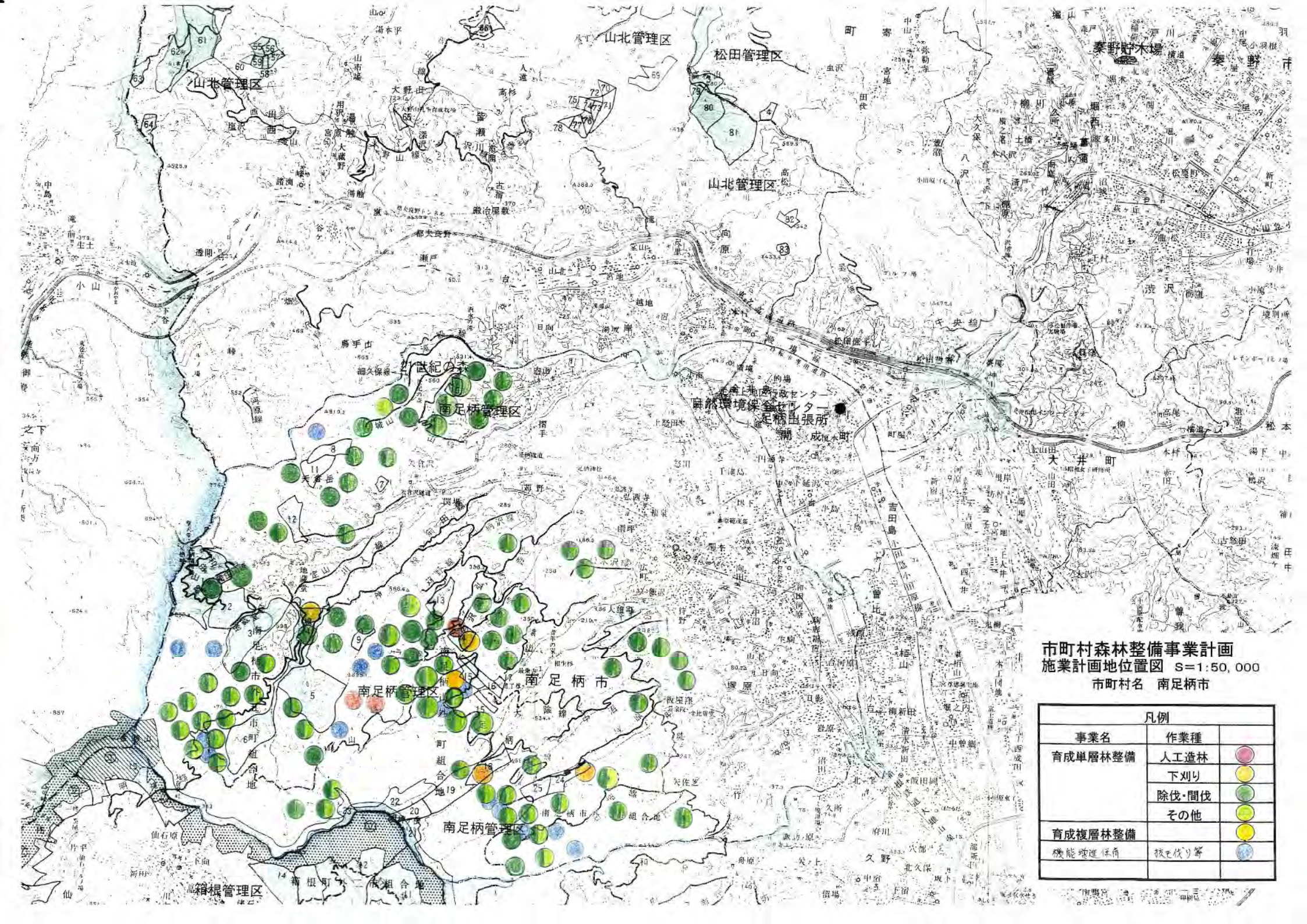
事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:神奈川県

地域(地区)名:南足柄市^{みなみあしがらし}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	862,239	
	流域貯水便益	232,809	
	水質浄化便益	485,215	
山地保全便益	土砂流出防止便益	944,232	
	土砂崩壊防止便益	121,632	
環境保全便益	炭素固定便益	301,460	
木材生産等便益	木材利用増進便益	135,157	
	木材生産確保・増進便益	889,167	
森林整備経費縮減等便益	治山経費縮減便益	224,985	
	森林整備促進便益	1,084,390	
総 便 益 (B)		5,281,286	
総 費 用 (C)		2,353,239	
費用便益比	$B \div C = \frac{5,281,286}{2,353,239} = 2.24$		



市町村森林整備事業計画
 実施計画地位置図 S=1:50,000
 市町村名 南足柄市

凡例		
事業名	作業種	
育成単層林整備	人工造林	●
	下刈り	●
	除伐・間伐	●
育成複層林整備	その他	●
	残能残伐任育	●
	抜く伐り等	●